

AI活用を目指すビジネスパーソンに向けた最新の指南書

「投資対効果(ビジネスインパクト)を最大化する AI 導入 7つのルール」

を2020年2月29日に発売

AIに強い人と組織体制を構築するための支援を行う株式会社アイデミー(本社:東京都文京区、代表取締役社長 石川聡彦、以下「アイデミー」)は、2020年2月29日に、アイデミー初のビジネス書である「投資対効果(ビジネスインパクト)を最大化する AI 導入 7つのルール」をKADOKAWAより発売いたします。本書はAIのビジネス活用に焦点を当て、65,000人のユーザーと累計120法人のAIプロジェクト内製化を支援する中で共通した要素を、具体例を交えながら7つのルールとしてまとめたものです。



【書籍の概要 - 「はじめに」より】

本書では、機械学習プランナーに必要な「AIのビジネス活用における考え方」を「7つのルール」にまとめました。この7つのルールは、著者が様々なAIプロジェクトに携わり、機械学習エンジニアと仕事をするなかで見つけた法則を抽象化したものになります。この本では、難しい理論や複雑な数式は一切登場しません。機械学習の理論を易しく解説した上で、ビジネス企画に必要な要素に特化して、押さえておくべきポイントを解説しています。

【著者コメントより】

AI(機械学習)のプロフェッショナルが不足しているのは周知の事実でしょう。

しかし、近頃、様々な経営者の方々から、「機械学習エンジニアも足りていないが、それ以上に機械学習プランナーが足りない」と、よく指摘されます。

機械学習プランナーとは、どのような課題を解くのか整理し、機械学習プロジェクトのゴールを示す職種です。この職種には、文系・理系、プログラミングができる・できないは関係ありません。本書で扱う「7つのルール」。すなわち「AIのビジネス活用における考え方」を身に着けた人材のことであり、この考え方は、DX時代にビジネスを進めるうえで、必須の教養となっていきます。本書がみなさまのビジネスを革新し、未来を広げるきっかけとなることを願っています。

株式会社アイデミー 代表取締役社長 石川聡彦

【本書で扱う7つのルール】

- ルール 1. 機械学習の投資対効果を明確にすべし
- ルール 2. 「使えないデータ」と「使えるデータ」を把握すべし
- ルール 3. 機械学習で狙うべき領域を同定すべし
- ルール 4. インプットとアウトプットの解像度を高めるべし
- ルール 5. 機械学習の性能を正しく評価すべし
- ルール 6. 実運用のイメージを高めるべし
- ルール 7. ステークホルダーとのエコシステムをつくるべし

【書籍情報】

書籍名:投資対効果(ビジネスインパクト)を最大化する AI 導入 7つのルール

著者:株式会社アイデミー 代表取締役社長 石川聡彦

出版社:株式会社 KADOKAWA

ページ数:208 ページ

定価:1,760 円(税込み)

ISBN:978-4046045478

発売日:2020/02/29

販売サイト:https://www.amazon.co.jp/dp/4046045477/ref=cm_sw_r_tw_dp_U_x_fMXvEb917K18S

【株式会社アイデミー】

株式会社アイデミーは「AIを始めとする先端技術と産業領域の融合に取り組む人と組織を支援する」を企業理念とする、2014年創業のベンチャー企業です。

2017年12月に「10秒で始めるAIプログラミング学習サービス Aidemy」をリリースし、サービス開始約2年で登録ユーザー数6.5万人を突破した日本最大級のAI学習オンラインサービスとなりました。

現在では個人向けに留まらず法人向けにもサービスを展開しており、企業のAIプロジェクト内製化に向け、教育研修から事業定義・試作品開発・実運用まで一気通貫でご支援しております。

こうした事業を通じて、「先端技術が社会実装されるまでの壁」を取り除くべく尽力して参ります。



▲株式会社アイデミー 代表取締役社長 石川 聡彦▲

【Aidemyの概要】

Aidemyはサービス開始約2年で登録ユーザー数6.5万人を突破した日本最大級のAI学習オンラインサービスです。<https://aidemy.net/>

1. 10秒で演習開始 - PCへの環境構築は不要で、インターネットブラウザ上でプログラミングができます。

- 2. 今話題の技術を習得可能 - ディープラーニングや自然言語処理など、いま話題の技術を習得できます。
- 3. 無料から始められる - 一部の講座は完全無料にてご受講いただけます。



▲Aidemy の演習画面の例(左:コードを書きながら学習する問題, 右:クイズに答えながら学習する問題)▲

【Aidemy の教材の特徴】

- 1. ビジネス職向けのリテラシー・企画力を育成する教材も増強 - オープンイノベーション実践や技術の基礎なども学べる教材を増強しています。
- 2. 理論より実践重視 - エンジニア向け教材は Python/numpy/scikit-learn/tensorflow などを使用し直感的に演習できる教材です。
- 3. 自動採点システム - 書いたプログラムは仮想環境上で自動的に採点されます。



▲Aidemy の教材(左:受講ルートページ, 右:受講コースページ)▲

【株式会社アイデミー概要】

会社名: 株式会社アイデミー
 所在地: 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学アントレプレナープラザ 302 号室
 代表者: 代表取締役社長 石川 聡彦
 設立: 2014 年 6 月
 URL: <https://aidemy.co.jp/>

株主: 経営陣, 東京大学エッジキャピタルパートナーズ(UTEC), Skyland Ventures, 大和企業投資, ダイキン工業, テクノプロ, 東京大学協創プラットフォーム開発(東大 IPC), 千葉道場ファンド, 個人投資家
 事業内容: AI に強い人と組織体制を構築するためのクラウドソリューション「Aidemy」の提供



【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社アイデミー

広報担当 高野

TEL:03-6868-0998 (平日 10:00-18:00)

Email: support@aidemy.co.jp